

認定NPO法人
市民セクターよこはま

■ 事業報告 2023 ■

2023（令和5）年度（2023年4月～2024年3月）



～誰もが自分らしく暮らせるまち～

一人ひとりの市民が主人公として、
幸せと豊かさを実感できる市民社会の実現を目指して...

【2023（令和5）年度事業報告書 目次】

- ◆ 2023（令和5）年度を振り返って P 1
- ◆ 組織・事業 P 2
- ◆ 運営に関する事項（法人総務）
 - (1) 会員〔会員数・会員総会〕 P 3
 - (2) 理事会〔開催日・議題〕
 - (3) 各団体・行政機関等の委員の受任 P 4
 - (4) 他団体の会員として P 6

◆ 事業に関する事項

1. 市民協働推進部

- 1) 横浜市市民協働推進センター運営事業 P 7
- 2) ヨコハマ市民まち普請事業 P 10
- 3) 空き家マッチング P 12
- 4) ボランティア活動施策推進会議
- 5) 災害復興暮らし応援・みんなのネットワークかながわ（通称：みんな） P 13
- 6) 日韓市民活動交流事業 P 14

2. 市民活動支援部

- 1) にしく市民活動支援センター（にしとも広場）運営事業 P 15
- 2) 西区地域づくり大学校

3. まちかどケア事業部

- 1) 認知症サポーターキャラバン事務局 P 20
- 2) 認知症カフェ支援 P 21
- 3) 認知症ケア実務者研修 P 22
- 4) 認知症ケアウェブサイト・システム P 23
- 5) まちかどピクチャーズ P 24

4. 第三者評価部

- 1) 福祉サービス第三者評価事業 P 25

5. DX 推進部 ※新設

- 1) オンラインサービス活用講座 P 26
- 2) 情報セキュリティ・IT 支援業務

6. 法人の取組み（管理部）

- 1) 市民セクターみらい会議の実施、法人 MVV の策定 P 27
- 2) 人事考課制度の制定 P 28
- 3) 情報セキュリティポリシーの制定

- ◆ 資料編 P 29

2023（令和 5）年度を振り返って

理事長 鈴木 智香子

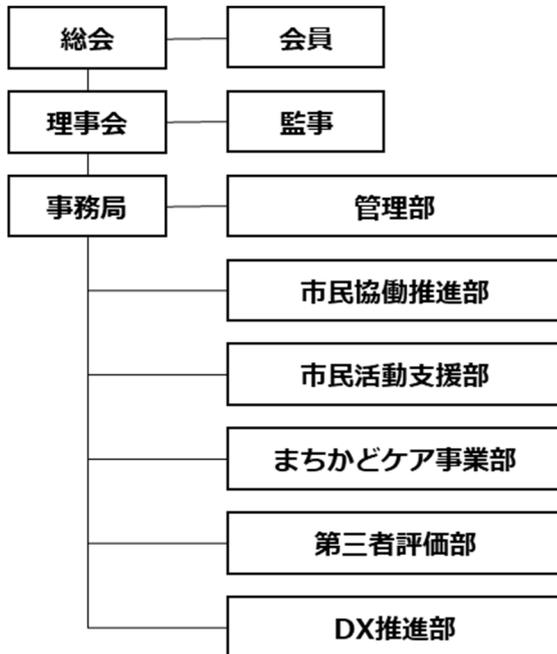
2023（令和 5）年度を振り返ると、長く私たちの市民活動を阻んできたコロナの制限も緩み、地域の活動、人も急に動き始めた感がありました。しかし 3 年間のコロナによる影響は大きく、地域の高齢化、子育てする親たちの孤立も気づかぬ間に進んでしまいました。NPO として、孤立、孤独への支援をしている団体も多く、この数年間の課題感はいずれからの少子高齢化、人口減少社会に向けて、中間支援組織として市民セクターよこはまが何をすべきなのかを凝縮して見せられたようにも思います。

世界に目を向けると、様々な紛争が解決の糸口も見いだせないまま、悲惨な状況が毎日のように伝えられてきます。何もできない大人を、子どもたちはどのような思いをもって見ているのだろうと思うと、その責任につぶされるような気持ちがします。大きな災害もありました。災害大国にあって、今後起こると想定されている災害に向けても、連携が何より必要にもかかわらず、分断の方が先に進んでいる感があります。

市内の活動団体の力を合わせて、様々な課題を共有し、一つの団体ではできないことを解決につなぐことが、市民セクターよこはま設立の目的でした。集うことができないと言っているうちに、そういった、協働のチカラもそがれてきたように感じています。課題に対して、市民自らが解決に向けて動く力を支援することを今ほど必要とされていることはないと思います。社会の様々な場面で、今までは家族で解決あるいは対応していたことが、社会が受け皿となっていくことが求められるようになってきました。ここでいう社会の中で、地域、NPO は大きな役割を持っており、その活動が自発的で生き生きとしていることが、そこに暮らす人にとっての幸福にそのままつながることを、私たちは日々実感しています。市民セクターよこはまの活動が、そのような市民活動支援に引き続き貢献できるよう一層努力します。

組織・事業

組織体制図



2. 市民活動支援部

- 1) にしく市民活動支援センター”にしとも広場”運営事業（西区協働事業）
- 2) 西区地域づくり大学校（西区受託事業）

3. まちかどケア事業部

- 1) 認知症サポーターキャラバン事務局（健康福祉局受託事業）
- 2) 認知症カフェ支援
- 3) 認知症ケア実務者研修
- 4) 認知症ケアウェブサイト・アプリ
- 5) まちかどピクチャーズ（助成事業）

各事業部の担当事業

1. 市民協働推進部

- 1) 横浜市市民協働推進センター運営事業（市民局協働事業）
- 2) ヨコハマ市民まち普請事業（都市整備局協働事業）
- 3) 空き家マッチング（建築局受託事業）
- 4) ボランティア活動施策推進会議（神奈川県受託事業）
- 5) 災害復興暮らし応援・みんなのネットワークかながわ（かながわボランティア活動推進基金21事業）
- 6) 日韓市民活動交流事業（助成事業）

4. 第三者評価部

- 1) 福祉サービス第三者評価事業

5. DX 推進部

- 1) オンラインサービス活用講座
- 2) 情報セキュリティ・IT 支援業務

6. 法人の取組み（管理部）

- 1) みらい会議の実施、法人 MVV の策定
- 2) 人事考課制度の制定
- 3) 情報セキュリティポリシーの策定

運営に関する事項（法人総務）

(1) 会員

● 会員数

2023（令和5）年3月31日時点：93

【正会員 84】団体 29/個人 55、【準会員 4】団体 1/個人 3、【賛助会員 5】団体 3/個人 2

↓

2024（令和6）年3月31日時点：93

【正会員 84】団体 27/個人 57、【準会員 4】団体 1/個人 3、【賛助会員 5】団体 3/個人 2

● 社員総会（会員総会）

第 21 回 通常総会

日 時：2023（令和5）年5月23日（火） 19:00-20:00

会 場：市民セクターよこはま事務所（ICHIMATSU スクエア）

出席者数：57名（うちウェブ評決4名、書面表決10名、委任33名 | 正会員数82名）

(2) 理事会

● 開催日

2023（令和5）年：6月27日、8月29日、10月31日、12月26日

2024（令和6）年：2月27日、3月26日、4月30日

● 議 題

総会の企画・議案の検討

事業報告・決算、事業計画・予算、役員人事

各部事業の報告検討

市民活動支援部、市民活動支援部、まちかどケア事業部、第三者評価部、DX推進部

委員等の推薦、連携・協力依頼

市民セクターみらい会議の企画・振り返り

法人運営の検討

規程の改正、法人MVV、職員面談、職員人事、給与改定 等

(3) 各団体・行政機関等の委員の受任

行政や社会へ提言、市民参画の拡大の為、さまざまな団体等の委員を引き受けています。

[委員・役員等の受任]

【県域】

- ・ 公益社団法人かながわ福祉サービス振興会 理事（中野 しずよ）
- ・ 神奈川県かながわ協働推進協議会 委員（伊吾田 善行）

【市域】

〔横浜市健康福祉局〕

- ・ 横浜市地域福祉保健計画・横浜市地域福祉活動計画検討会 委員（山野上 啓子）
- ・ 横浜市福祉有償移動サービス運営協議会 委員（山野上 啓子）

〔横浜市こども青少年局〕

- ・ 横浜市親と子のつどいの広場事業選定委員会 委員（鈴木 智香子）
- ・ よこはま北部ユースプラザ運営法人選定にかかる検討会 委員（松本 道雄）

〔横浜市にぎわいスポーツ文化局〕

- ・ 横浜市民ギャラリーあざみ野指定管理者選定評価委員会 委員（加世田 恵美子）
- ・ 横浜市芸能センター指定管理者選定評価委員会 委員（加世田 恵美子）
- ・ 横浜市陶芸センター指定管理者選定評価委員会 委員（加世田 恵美子）

〔横浜市社会福祉協議会〕

- ・ 横浜市社会福祉協議会 福祉ボランティア・市民活動部会 委員（中野 しずよ）
- ・ 横浜市社会福祉協議会 よこはまふれあい助成金運営委員会 委員（鈴木 智香子）
- ・ 横浜市社会福祉協議会 「福祉よこはま」 編集委員（小川 由起子）

〔その他〕

- ・ NPO 法人横浜移動サービス協議会 監事（中野 しずよ）
- ・ キクシマ SDGs 基金「かがやき活動応援コンペティション」審査会 委員（伊吾田 善行）

【区域】

- ・ 港南区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 委員（中野 しずよ）
- ・ 青葉区コミュニティハウス指定管理者選定委員会 委員（中野 しずよ）
- ・ 青葉区福祉活動拠点指定管理者選定委員会 委員（中野 しずよ）

[講師等の受任]

【県外】

- ・ 東京都北区「NPO・ボランティアぶらざ」 協働担い手づくり研修 講師（伊吾田 善行）
- ・ 日本医療政策機構 認知症政策プロジェクト公開シンポジウム パネリスト（小菅 聡一郎）
- ・ 福岡県 認知症カフェセミナー研修会 講師（小菅 聡一郎）

【県域】

- ・ 神奈川認知症カフェ学会大会 大会長（小菅 聡一郎）
- ・ 神奈川県 世界アルツハイマーデーかながわ シンポジスト（小菅 聡一郎）
- ・ かながわ福祉サービス振興会 かなふくセミナー 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 神奈川県立保健福祉大学 地域作業療法学演習 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部 認知症コールセンター相談員研修 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 生活協同組合パルシステム神奈川 テーマパル・総合福祉 講師（小菅 聡一郎）

【市域】

- ・ 横浜市総合保健医療センター 認知症疾患医療センター地域連携会議（小菅 聡一郎）
- ・ ウィリング横浜 主催研修 講師（小菅 聡一郎）

【区域】

- ・ 西区 介護者支援講座 講師（中野 しずよ）
- ・ 鶴見区 企業向け地域貢献講座 講師（伊吾田 善行・韓 昌熹）
- ・ 南区 認知症キャラバン・メイト研修会&連絡会 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 港北区 認知症キャラバン・メイトのつどい 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 青葉区 キャラバン・メイトの集い 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 港南区 キャラバン・メイト連絡会 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 瀬谷区 キャラバン・メイト連絡会 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 戸塚区 みまもりネット連絡会 講師（加世田 恵美子・小菅 聡一郎）
- ・ 青葉区 認知症カフェ研修&交流会 講師（小菅 聡一郎）
- ・ いずみ中央地域ケアプラザ スタッフ研修 講師（小菅 聡一郎）
- ・ みま～もすえよし 研修会 講師（小菅 聡一郎）
- ・ 都築電気株式会社 社内介護カフェ ファシリテーター（小菅 聡一郎）
- ・ 神奈川区役所 ICT 活用講座 講師（松本 道雄）
- ・ みんなの交流スペース「むつら」 Zoom 活用講座 講師（松本 道雄）
- ・ みどり国際交流ラウンジ 個人情報保護研修 講師（松本 道雄）

(4) 他団体の会員として

下記の団体に会員として参画しました。

- ・ 公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会
- ・ 社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
- ・ 社会福祉法人 横浜市西区社会福祉協議会
- ・ 認定 NPO 法人 日本 NPO センター
- ・ 認定 NPO 法人 横浜移動サービス協議会
- ・ NPO 法人 税理士による公益活動サポートセンター
- ・ 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク
- ・ 災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ

事業に関する事項

1. 市民協働推進部

1) 横浜市市民協働推進センター運営事業

(横浜市市民局市民協働推進課と協働契約を締結し実施しました)

実施内容

1. 総合相談事業

- 1-1. 総合相談窓口：行政、市民団体、企業、大学など、様々な主体との協働について相談・提案を受け付けるワンストップ窓口としました。
- 1-2. 市民協働相談会：協働コーディネーターと参加者がつくり上げる社会課題解決への気づきの場。交流会を含め、人材発掘や協働のヒントを共に考える場としました。
- 1-3. 士業相談会：市民協働を推進するために、NPO が組織運営に必要な税理士・社労士との相談を相談会として開催することで、組織内の課題解決に対応しました。

2. 情報の蓄積・活用・発信事業

- 2-1. 情報発信：センターや市内のイベント情報、助成金情報などを、ホームページやSNS、メルマガ、印刷物を通じて広く周知し、市民等に提供しました。
- 2-2. 情報誌発行：センターの広報、実施内容、センターで相談を受けた・セミナーなどに参加した団体の活動紹介、市民活動・市民協働相談会の様子等を掲載しました。

3. 人材育成事業

- 3-1. スタートアッププログラム：市民活動に関わりたい意欲的な若い世代（企業や行政職員を含む）を念頭においた人材育成プログラムとしました。
- 3-2. コラボレーション@スペース：協働の創発への示唆となる他分野や周辺領域のゲストトークを開催。会場では参加者同士の意見交換や交流も促進しました。

4. 交流促進事業

- 4-1. ミズベサロン：協働に意識のある市民が顔を合わせて、社会課題の解決に関わりたいという考えを共有し、参加者同士がゆるくつながる場としました。
- 4-2. 市民協働 HUB 事業：「様々な主体がつながる」ためのハブ機能として、センターが市内外の様々なステークホルダーと連携するプラットフォームを整備しました。
- 4-3. ヨコラボ 2023：市内の協働・共創事例を紹介し当事者や関係者がディスカッションなどを行うことにより協働・共創の仕組み化にヒントとなるものを共有しました。

5. 市民活動支援事業

- 5-1. 市民活動（NPO）入門セミナー：NPO法人設立に関心がある、または設立を具体的に検討・準備している団体・個人を対象にNPO入門セミナーを実施しました。
- 5-2. 市民活動基礎セミナー：既存の市民活動団体や市民協働を実践しているNPOなどを対象に、人材育成としてスキルアッププログラムを実施しました。
- 5-3. 市民活動フェス：市内の市民活動団体が、活動する分野の垣根を越えて、相互に連携・協働しながらその活動を広く社会に発信するイベントを開催しました。

6. 各区の市民活動支援センター支援事業

- 6-1. ネットワーク会議：各区支援センター間の情報共有・職員同士の交流、機能強化を目的に、市民局と協働で年3回程度実施しました。
- 6-2. ヒアリングと日常サポート：NPO等の団体支援・協働に関する相談へのサポートと情報提供を行いました。

7. 協働を促進するスペースの活用

- 7-1. 団体登録：協働推進のためのスペース利用促進、ヒアリングにて課題を聞き取り、コーディネーター対応に繋げました。
- 7-2. 窓口対応、スペース運営：協働ラボはセンター事業や打ち合わせスペースとして運営しました。スペースABは横浜市との協働によるスペース活用を行いました。（市の後援、共催、主催事業）

成果

1. 総合相談事業

- 1-1. 総合相談窓口：主な相談：協働、組織運営、NPO設立など、年間約1,143件。
- 1-2. 市民協働相談会：下記テーマで実施し90名以上の参加がありました。
 - ①子どもの居場所：ゲスト：かけはし廣瀬氏、Co：鈴木氏、大木氏
 - ②地域コミュニティ：ゲスト：加藤理事、Co：鈴木氏
 - ③防災：ゲスト：渋谷市民局長、株式会社かまいしDMC小松野氏、Co：伊藤理事
 - ④地域の緑：ゲスト：NORA松村氏、まま舞岡中川氏、Co：吉武氏
- 1-3. 土業相談会：テーマ：会計：7/11、12/11 労務：9/14、3/14、計65名参加
講師（会計）：吉澤 寿朗税理士（NPO法人税理士による公益活動サポートセンター）
講師（労務）：飯田 剛史社会保険労務士（社会保険労務士法人ことのは代表）

2. 情報の蓄積・活用・発信事業

- 2-1. 情報発信：ホームページやメルマガ（登録4,579名）、SNS（Facebook：799フォロワー、X：173フォロワー）
- 2-2. 情報誌発行：8000部発行（NPO法人森ノオトとの協働事業）

3. 人材育成事業

- 3-1. スタートアッププログラム：市民協働による社会課題解決に向けた連続講座&ワークショップ（講師：産能大中島教授、NPO 法人まち×学生プロジェクト、町田サポートオフィス）、延べ 76 名参加
- 3-2. コラボレーション@スペース：①ChatGPT を活用した地域の協働、②横浜の食が つなぐ協働の未来、延べ 65 名参加

4. 交流促進事業

- 4-1. ミズベサロン：①起立性調節障害の子ども達の居場所づくり、②精神障害の方が考える「働き方、生き方」とは、③十人十色 ゆるりと「性教育」のお話会、延べ 49 名参加。
- 4-2. 市民協働 HUB 事業：①大学編：3/1「大学・都市パートナーシップ協議会事務担当者会議」にてセンターPR 市内 30 校。②企業編：3/25「公益事業者交流会」（かながわ福祉サービス協興会、SDGs デザインセンター、男女共同参画センター、市社協、共創、ゆめ社会福祉財団ほか）
- 4-3. ヨコラボ 2023：10/30 | 1. オープニングセッション：SDGs デザインセンター、共創コンソーシアム、市民協働推進センター | 2. 「市民協働の経験から見えてきた協働・共創の未来」 | 事例発表①「港北水と緑の学校事業」（NPO 法人 鶴見川流域ネットワーク） | 事例発表②ちよこっと子育てレスキュー隊の活動 | 3. パネルディスカッション：上記メンバーに加え、森ノオト北原氏をモデレーターに港北区と都筑区が加わり実施しました。70 名参加。

5. 市民活動支援事業

- 5-1. 市民活動入門セミナー：オンライン開催 計 41 名（金沢区協働開催含む）
- 5-2. 市民活動基礎セミナー：①「経営」講師：株式会社 EMA 楯氏 | ②「会計」講師：高橋税理士 | ③「PR 戦略」講師：株式会社 Nextwel 日野氏。39 名参加
- 5-3. 市民活動フェス：8 月「市民活動アピール days」 | 10 月「ワークショップ&Pepper くん環境・防災&市民活動チラシコンテスト」 | 12 月「子どもあんぜんフェスタ 2023 ~わんわんパトロール紹介~」、延べ 2,727 名参加

6. 各区の市民活動支援センター支援事業

6-1. ネットワーク会議：

- ①「市民活動支援センターの役割等について」 参加者：34 名
- ②「つながり・つなぐ・地域の輪」ゲスト：まち×学生プロジェクト 原島氏 参加 34 名
- ③「NPO 法人との連携等について」ゲスト：森ノオト 北原まどか氏 参加者：23 名

6-2.ヒアリングと日常サポート：

- ①市民局との各区ヒアリングの実施
- ②金沢区（協働企画「NPO 入門セミナー」 開催：参加：25名）
- ③緑区（協働企画「OPEN みどりーむ 地域×NPO×自治会」 開催：参加：25名）等

7. 協働を促進するスペースの活用

7-1. 団体登録：135 団体

7-2. 窓口対応、スペース運営：

協働ラボ利用者数：12,381 名（2022 年度 5,078 名）

スペース AB 利用者数：7,348 名（2022 年度 5,347 名）

課題・展望

- ・市民協働提案事業の提案につながるような仕組みづくり
- ・市民団体、中間支援組織の世代交代
- ・コロナで切れているネットワークの再生及び強化

2) ヨコハマ市民まち普請事業

（横浜市都市整備局、横浜市住宅供給公社と協働契約を締結し実施しました）

実施内容

今年度は、まち普請事業全体予算が大幅に増やされ、事務局委託費も増額されました。当法人は昨年までの業務に加え、提案グループの伴走支援を初めて横浜市と共に行いました。また、提案前段階の事前登録者向けに、整備箇所の見学バスツアーを追加で契約、実施しました。

◆ 公開 1 次コンテスト YouTube 配信

開催日：2023（令和 5）年 7 月 9 日（日） 会場：横浜市役所 1 階アトリウム

6 グループから提案があり、全グループが 2 次コンテスト対象提案として選考されました。

◆ 公開 2 次コンテスト YouTube 配信

開催日：2024（令和 6）年 1 月 28 日（日） 会場：横浜市役所 1 階アトリウム

4 グループ（2 グループ辞退）のうち以下 2 提案が整備助成対象提案として決定しました。

提案名	グループ名
HOMMOKU もくりプロジェクト（中区）	HOMMOKU もくりプロジェクト 実行委員会
リアルとバーチャルで夢を応援 えだきんメタワールド（都筑区）	えだきん×夢叶きゃらぼん

◆現地見学会（バスツアー）

開催日：2023（令和5）年8月22日（日）

対象者：審査委員、1次コンテスト通過グループ

見学先：令和4年度整備施設3箇所

八景市場ANNEX（金沢区）、まちとも霧が丘（緑区）、モヤキラCAFE（都筑区）

◆2次コンテスト対象提案現地視察（バスツアー）

開催日：2023（令和5）年10月29日（日）

対象者：審査委員

視察先：1時コンテスト提案6箇所

◆事前登録者向け整備施設見学会（バスツアー）／追加契約

開催日：2024（令和6）年3月10日（日）

対象者：事前登録者8名

見学先：コミュニティカフェ icocca（港南区）、美晴台道路の愛称入り案内板（港南区）

おもいやりハウス（南区）

◆整備提案グループの伴走支援

年度を通し、横浜市地域まちづくり課と共に提案グループの打合せ等に参加。活動のノウハウ提供、議事録作成など実施。（24回）

◆まち普請事業に関する広報協力

- ・横浜市市民協働推進センターにおける事業を通じた広報
 - ・ メールマガジン：各イベント・応募案内
- ・ 法人事業を通じた広報
 - ・ 西区地域づくり大学校：まち普請事業の制度紹介

成果

まち普請は、横浜市都市整備局地域まちづくり課、横浜市住宅供給公社、市民セクターよこはまの三者による協働事務局で運営しています。それぞれの強みを生かした業務分担をしていますが、特に今年度は伴走支援も行い、当法人がもつ市民活動支援のノウハウをより活かすことができたと考えます。

課題・展望

まち普請は、様々な活動団体の立ち上がりから運営まで、実際に見て聞いて体感できる貴重な事業の一つです。事務局業務を担うと、職員自身が市民活動支援の引き出しを増やすことができ、成長につながります。その意味で、事務局業務を担える職員体制の検討が必要です。

3) 空き家マッチング

(横浜市建築局住宅政策課の受託事業として実施しました)

実施内容

- ① 相談・ヒアリングの実施
- ② 空き家の案内窓口との連携
- ③ 物件と活用団体のマッチング、コーディネート、支援

成果

空き家に関する相談は年間 89 件、登録団体は 16 団体でした。3 件の物件に対して、5 つの団体のマッチングを行いました。成約まではたどり着かなかったが、マッチングの経験により、所有者も、団体も、空き家活用による地域活動・社会貢献活動の現状を認識できるようになりました。不動産関係者向けに空き家活用に関する横浜市の取組、空き家活用の事例を紹介するセミナーと、平安小学校での空き家活用に関する出前講座を行い、空き家問題について取り組む予定です。

課題・展望

- ・市民に事業内容をわかりやすく伝えるために、ホームページの掲載内容を検討する。
- ・協働推進センターホームページで、空き家マッチング事業の紹介ができるように、関係局と協議を重ねる。
- ・区から紹介があった相談者は、制度の趣旨と異なる事例があり、各区へ事業内容の周知を行う必要がある。

4) ボランティア活動施策推進会議

(神奈川県政策局の受託事業として実施しました)

実施内容

神奈川県と市町村の連携・協力を図り、県内のボランティア活動の充実に向けた取組を推進していくため、施策に関する協議、意見交換等を行うことを目的にボランティア活動施策推進会議（課長・実務担当者合同会議）を実施しました。

(ア) 横浜市市民協働推進センターによる協働推進等に関する取組事例の紹介

横浜市市民協働推進センターの伊吾田センター長（特定非営利活動法人市民セクターよこはま理事）から協働推進等に関する取組事例を紹介。

(イ) 情報交換事項について、提案型の協働推進事業の一層の促進について

提案自治体からの説明：平塚市

情報提供：相模原市、鎌倉市、かながわ県民活動サポートセンター

(ウ) 県からの情報提供、「寄付月間」・「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」における取組について神奈川県 NPO 協働推進課から情報提供があった。

成果

(1) 日 時：2024（令和6）年1月18日（木） 14：00～15：00

(2) 開催方法：Zoom（オンライン）

(3) 参加者数：出席市町村：21市町村 36名、県：NPO 協働推進課4名
かながわ県民活動サポートセンター3名、合計 43名

※神奈川県との信頼関係継続の一助となった。

5) 災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ

(かながわボランティア活動推進基金 21 事業として実施しました)

実施内容

■ 県域

- ① 協定締結（県域で実施している情報共有会議の協定化）
- ② ネットワーク
- ③ 地域学習会
- ④ ぼうさいこくたい 2023 に出展
- ⑤ 情報共有会議の立ち上げに向けた訓練（図上訓練）
- ⑥ 災害時の連携を考えるかながわフォーラムの開催

■ 市域

- 1 横浜市における三者連携の強化（横浜市市民局＋横浜市社協＋みんなかな）
- 2 「災害ボランティアに関する市域団体連絡会」共催
(参加：各災害ボランティアネットワーク、生協、民生委員児童委員協議会、青年会議所、横浜市国際交流協会など、26名)
- 3 横浜市における市民活動団体とのネットワーク強化

成果

今年度も、神奈川県や横浜市が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、市内の団体等の連携・協働を進めるネットワークづくりを目的とした活動を行うことができました。

課題・展望

今後の平時における展開や、運営体制、資金調達などについて、課題があります。

6) 日韓市民活動交流事業

(日韓文化交流基金からの助成を受けて実施しました)

実施内容

1. 市民協働推進センターの類似施設に視察・意見交換
2. 市民セクターよこはまの類似法人に視察・意見交換
3. 日韓の市民団体の交流

成果

韓国のソウル市、水原市にある市民活動・市民協働関連施設3か所を視察し、意見交換を実施しました。法人の類似、市民団体へ訪問し、意見交換を実施しました。各施設の事業から、今後センター事業に活かせるアイデアを受けました。訪問先すべてが約10年前に、横浜市市民活動支援センターを視察し、事業を展開しており、切られている縁を再発掘できました。

課題・展望

- ・各団体・施設の所長・理事長と交流ができ、今後の連携事業を検討します。
- ・今回は助成金を受けて実施できましたが、予算上、今後の実施は未定です。
- ・今回の関係を機に、訪問先が横浜へ視察に来るなど、交流の発展を期待しています。

2. 市民活動支援部

1) にしく市民活動支援センター“にしとも広場”運営事業

(横浜市西区役所と協働契約を締結し実施しました)

2) 西区地域づくり大学校

(横浜市西区役所の受託事業として実施しました)

実施内容

1) **相談事業**：相談件数は、2023（令和5）年度実績：281件（前年比83%）とやや減少していますが、データベース化による職員間の共有によるシームレスな対応や傾向の分析など、質の向上を図りました。相談者に寄り添い、疑問や課題の解決につなげる事を常に意識し、状況によっては施設や地域の活動者と情報共有をして、連携して対応を行いました。

2) **情報提供・発信事業**：施設やホームページ・Facebookでの情報発信に加え、イベントカレンダーを毎月発行し、自治会・町内会や民児協、西子連での配付を行い、地域の中での事業の周知を図りました。情報紙は区内の施設や登録団体等に発送して、次の活動につなげるきっかけとしました。

①情報紙「にしとも広場」

第21号「心で動く、地域の活動 ～顔の見える心地よいつながり～」

特集：西区地域づくり大学校 卒業生座談会

登録団体インタビュー：にしく名・達の会

第22号「音楽が生み出す笑顔の輪」

特集：西区街の名人・達人 音楽系団体座談会

登録団体インタビュー：子育て万歳サロン

②展示スペースの活用

7/1-8/27 「アート縁日」～みんなで【夏祭り】を作ろう！～

3) **団体マネジメント・ネットワーク支援事業**：活動団体の方から、活動への想いや抱える課題を直接伺い、当センターの担う役割を再認識し、次の活動につなげるきっかけとしました。

①地域人材ボランティア事業『西区街の名人・達人』

●登録件数：148件（新規13、削除1）

●体験会

日付	イベント名	講師・奏者	参加人数
4/25（火）	楽しく作る手形アート	木村ゆい	14名

5/11 (木)	南ぬ風 Sha-la-la のコンサート	南ぬ風	5名
6/9 (金)	元気に楽しく脳トレ・体操	浅原テイ子	7名
9/19 (火)	骨格ドック®骨格整体®で心身の最適化	杉原宏昭	16名
10/7 (土)	みんなで気功体験	フルーヴ気功	6名
1/21 (日)	歴史講座「横浜の怪物 高島嘉右衛門」	加藤明彦	16名
2/3 (土)	早春の養生 おはなしとお茶づくり	山本珠代	7名
合計			71名

●体験会

日付	イベント名	講師・奏者	参加人数
7/29 (土)	アロマの香り漂うサマーリース	Flowerdesign ♪陽 Haru	8名
7/29 (土)	ガラスの風鈴♪づくり①	高野圭子	12名
7/29 (土)	ガラスの風鈴♪づくり②		12名
8/12 (土)	こども科学捜査体験講座①	久保雅信	42名
8/12 (土)	こども科学捜査体験講座①		25名
11/30 (木)	干支の年賀状①	吉田紅峯	6名
12/2 (土)	クリスマスリースをつくろう	Flowerdesign ♪陽 Haru	11名
12/2 (土)	クリスマススワッグをつくろう①		11名
12/2 (土)	クリスマススワッグをつくろう②		9名
12/3 (日)	干支の年賀状②	吉田紅峯	2名
3/16 (土)	常磐津節三味線の世界	岸澤満佐志	15名
合計			153名

②登録団体

- 登録件数：168件（新規10、削除36）※登録更新時に更新有無を確認

③団体交流会

実施日・参加人数	テーマ・内容
12/9 (土) 8名	活動を開く ～チャンスに向けて踏み出す一歩～ 1. 事例発表：南ぬ風（ぱいぬかじ）、あけぼの会、ブリリアみらいコミュニティ 2. グループワーク・発表
3/17 (日) 第1部：21名 第2部：14名	春の大交流会！～顔を合わせて語り合おう～ 第1部：1. オープニング演奏（名人・達人登録の3名） 2. すごろくトーク 第2部：軽食付きの懇親会

④西区民まつり in にしとも広場

実施日・参加人数	テーマ・内容
11/5 (日)	①おやこ休憩室
①② : 90名	②西区街の名人・達人紹介パネル展示
③ : 98名	③「帷子戦士デザイナー」によるヒーローショー・握手会

4) 地域支援事業 : 地域づくり大学校は、参加者の想いを実現するだけでなく、地域との繋がりや地域の中での活動を意識して、プログラムを作成しました。その他の事業でも、地域の中でのにしとも広場の役割や、地域との信頼関係の構築を意識して事業に取り組みました。

①第12期 西区地域づくり大学校

	実施日・参加人数	テーマ・内容
1	11/26 (日) 13名	『にしくについて知ろう』 1. 受講生自己紹介 2. 講義「西区について知ろう」「地域の仕組み」 3. 先輩たちと話そう
2	12/16 (土) 13名	『聞いて、見て、地域を知ろう～見学・まち歩き～』 神奈川大学みなとみらいキャンパス社会連携センター→戸部のお茶の間/戸部コミュニティハウス→咲弘洞→桜木カフェ/桜木自治会館→戸部本町地域ケアプラザ
3	1/20 (土) 12名	『おもいを形にプランをつくろう』 1. 講義「地域とつながり、活動を楽しむために」国立大学法人宇都宮大学地域デザイン科学部准教授 石井大一郎 2. グループワーク : 「みんなでチャレンジプランを話そう」 オブザーバー : 第一地区、第三地区、第4地区、第六地区代表者
4	2/18(日) 11名 +来賓 : 4名	『振り返り&プランの共有』 1. チャレンジプラン発表 質疑応答&感想共有タイム 2. 修了式 (修了者 11名)

②災害復興期のつながりづくり

実施日・参加人数	テーマ・内容
5/13 (土) 19名 (会場9名、オンライン10名)	「いざというとき、このつながりが力になる」 1. 災害復興期の生活の困りごとを考える 2. 人のつながりが災害復興期にどう生きるのかを考える コーディネーター : 災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ

③にしともるーむ

外国につながる子どもの学習支援教室「にしともるーむ」を毎週火曜日 16:00～17:00 開催しました。5年ぶりに「日本語・学習支援ボランティア養成講座」を実施し、西区の学習支援の実際を学びました。

実施日・参加人数	テーマ・内容
9/19(火) 15名	「外国につながる子どもたちをサポートしてみませんか」 講師：公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）

④地域のまつりへの参加

西区今昔クイズ、パネル展示、情報紙・イベントカレンダーの配布を行いました。

日程・場所・参加者	名称・主催
2/24(土) 80名	第21回 西区街の名人・達人まつり@藤棚地区センター 主催：にしく名・達の会
3/9(土) 100名	第19回 みんなのまつり@一本松小学校体育館 主催：第4地区社会福祉協議会

⑤意見交換会の実施

実施日・参加人数	テーマ・内容
3/28(木) 5名	西区連合町内会・自治会連絡協議会会長 西区社会福祉協議会会長 にしく名・達の会会長 藤棚一番街協同組合理事長 西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート施設長

5) 区・区民利用施設との連携：西区内の様々な施設と連携・協働をして、オール西区で事業に取り組む関係づくりを行いました。

①区民利用施設等との連携会議の実施

実施日・参加人数	テーマ・内容
1/18(木) 10施設・11名	利用者さんの「現在」と「未来」を見える化 ～今後の施設運営とつながり考える～ 1. 話題提供「施設を利用する中高生のリアル」 公益財団法人よこはまユース 事業課 吉田智之 2. ワークシートを使ってグループワーク

②センター事業における区内施設等との連携

●スマイル・ポートとの連携

実施日・参加人数	テーマ・協力先
8/27(日) 38組80名 +連携施設・団体：6名	みんなで！ みちあそび in にしとも広場 主催：にしく市民活動支援センター“にしとも広場”

+ボランティア：9名	共催：西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 浅間台みはらしプレイパーク 公益財団法人よこはまユース
1/20（土） 4名 +連携施設：1名	地域の方向け 「ダブルケア」って知っていますか？ 主催：西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート 共催：にしく市民活動支援センター“にしとも広場”

●生活支援センター西との連携

実施日・参加人数	テーマ・協力先
3/9（土） 17名 +関係者：7名	～精神障がいがある方とその家族～ 家族を包みこむ地域のつながり 主催：にしく市民活動支援センター“にしとも広場” 共催：生活支援センター西・パソコン工房 DELTA 横浜障がい相談システムねくさず 横浜市西区地域精神保健家族会「もみじ会」

●横浜中央図書館との連携「こぼこ図書」

実施期間	テーマ	関連行事・事業等
7月10日～8月9日	日本のおまつり	アート縁日
8月9日～9月7日	世界のおまつり	アート縁日・にしともるーむ
9月8日～10月7日	認知症について	認知症とともに歩む地域
11月8日～12月7日	西区の今昔	西区今昔を学ぶ講座
2月29日～3月28日	精神障がい理解	家族を包みこむ地域のつながり

6) **施設運営管理**：年間の利用件数は2,748件・6,583人と前年比ほぼ横ばいでした。DXによる業務フローの見直しや、子育て世代の利用を意識しや施設の運営管理を行いました。

7) **職員体制・研修**：研修による職員の知識やスキルの向上だけでなく、地域で活動する方々との接点を積極的に持って、市民活動マインドに共感し、これからの事業につなげる事を意識して取り組みました。

●職員研修（公開研修のみ掲載）

実施日・参加人数	テーマ・内容
9/30（土） 13名	認知症と共に歩む地域
1/28（日） 9名	いざという時役立つ救急救命

8) **区役所との協働**：地域協働の拠点としての当センターの役割を踏まえて、西区役所や関係機関との連携を図り情報共有や会議への参加をしました。

①西区地域自立支援協議会 5回

- ②ボランティア・市民活動部会 3回
- ③地域センター会議 4回
- ④その他のネットワーク会議 2回

成果

- ・自治会や民児協経由でのイベントカレンダーの配付や、地域のおまつりへの参加などを通して、地域の活動者ににしも広場との接点を作ることを心がけました。
- ・情報紙での音楽活動団体の取材をきっかけに、登録団体で実行委員会を組織して、次年度に音楽イベントを開催することになりました。
- ・企業によるこども食堂の実施の相談に対して、活動者や地域と丁寧につないで、実現にこぎ着けました。

課題・展望

- ・地域にアウトリーチして、活動者の声や想いに耳を傾け、地域の中でのにしも広場の役割を模索していきます。

3. まちかどケア事業部

1) 認知症サポーターキャラバン事務局

(横浜市健康福祉局の受託事業として実施しました)

実施内容

- 認知症キャラバン・メイト養成研修
開催日：一般向け2回 2023（令和5）年8月18日（金）・29日（火）
企業向け1回 2023（令和5）年8月22日（火）
会場：横浜市技能文化会館 2F多目的ホール
- 認知症キャラバン・メイトフォロー研修&交流会
開催日：2024（令和6）年1月29日（月）
会場：横浜市技能文化会館 2F多目的ホール
- 認知症サポーター養成講座開催支援
計画書・報告書のとりまとめ、講座開催に向けての相談対応など
- 認知症サポーターステップアップ研修の開催支援
- まちかどケアHP等による情報発信
掲載内容の適切な更新、市民投稿によるエッセイ「三寒四温」掲載など

成果

昨年度まではコロナ禍の影響がありましたが、今年度は各地でサポーター養成講座が開催され、認知症カフェの活動も再開されました。事務局として適切な活動支援業務を実行しました。

課題・展望

2024（令和6）年度の事務局業務は、一般競争入札により、他の法人へ移管する事になりました。

2) 認知症カフェ支援

実施内容

- 認知症カフェの立ち上げ・開催支援
- 企業内認知症カフェ等の立ち上げ・開催支援
- 「かながわオレンジネットワーク」への協力と県域展開の検討

成果

- 市庁舎1階スターバックスコーヒー店内で行われる「オリーブプレイス」の立ち上げと継続をサポートしました。
- 中区「オレンジカフェえがお」の立ち上げをサポートしました。
- インターコンチネンタルホテル従業員らが開催する「介護カフェ」の立ち上げをサポートしました。
- 都築電気株式会社横浜オフィス従業員らで開催する「介護カフェ」の立ち上げサポートとファシリテートをしました。
- 5/19、かながわ福祉サービス振興会の研修に講師を派遣しました。
- 6/20、神奈川県立保健福祉大学の地域作業療法学演習に講師を派遣しました。
- 9/30、世界アルツハイマーデーかながわのイベントに講師を派遣しました。
- 10/6、パルシステム神奈川の活動組合員向け研修に講師を派遣しました。
- 10/11、福岡県認知症カフェセミナー研修会に講師を派遣しました。
- 10/18、横浜市社会福祉協議会主催研修に講師を派遣しました。
- 12/3、認知症の人と家族の会神奈川県支部の研修に講師を派遣しました。
- 12/12、日本医療政策機構主催シンポジウムに講師を派遣しました。
- 1/25、青葉区認知症カフェ研修&交流会に講師を派遣しました。

課題・展望

- 今年度は、横浜市の認知症カフェ研修は、健康福祉局単独での開催となり、まちかどケア事業部としては実施しませんでした。
- 地域・職域ともにアピールが足りず、認知症カフェサポートデスクとしてサポートするカフェの数が伸び悩みました。
- 団体として神奈川オレンジネットワークに参加しなかったため、「神奈川認知症カフェ学会」への関与は職員の個人参加にとどまりました。

3) 認知症ケア実務者研修

実施内容

介護職、認知症カフェ関係者、認知症当事者を抱える家族などを対象に、認知症の基礎知識やパーソンセンタードケアを軸とした介護について、しっかりと基本から学ぶ研修を実施しました。情報公表制度の研修項目や認知症ケア専門士単位認定講座に対応した全2日間のプログラムとしました。

開催日時：2023（令和5）年12月3日（日）10時～16時

2024（令和6）年1月14日（日）10時～16時

会場：横浜市健康福祉センター8階

参加者：1日目 30名 2日目 39名（延べ69名）

講師陣：高齢者グループホーム横浜ゆうゆう 井上義臣氏

看護小規模多機能施設のぞみ 富田克利氏

高齢者グループホーム横浜はつらつ 長本節子氏

認知症対応型通所介護 GrASP（株） 村井キヌエ氏

有料老人ホームプレザンメゾン横浜羽沢町 村上美佳氏

グループホームみのり 原啓子氏

内容：1日目／■認知症について

■認知症の方の理解と接し方の基本

2日目／■認知症ケアの倫理

■事故発生及び再発防止

■身体拘束、高齢者虐待

■ひもときシート

成果

例年メイン講師 1 名とサブ講師 5 名の形で実施していましたが、今年度は 6 名各人が項目を担当する形にしました。講師陣は小規模多機能やグループホームなど様々な施設管理者等で、講義にはその背景・経験からのコメントが生きており、より納得感・満足度の高い研修となりました。

課題・展望

「認知症の基本」として毎年同内容で実施していますが、施設にとって「看取り」も大事なテーマであり、次年度の実施項目に入れたプログラムを検討することとなりました。

4) 認知症ケアウェブサイト・システム

(共同募金の助成を受けて実施しました)

実施内容

○新システム「Sフォーム」の構築

キャラバン・メイト向け認知症サポーター養成講座の計画書・報告書作成について、フォーム入力で計画書を作成するシステムを構築、入力内容はExcelファイルに保存して、申請者に送付、報告書作成に利用してもらった新しいシステムの構築を行いました。システム開発に伴う経費の一部を共同募金から補填しています。

○ 公式LINEアカウント運用見直し

Sフォームへの移行および、LINEの自動応答機能を使っていたFAQをホームページに移植することにより、まちかどケア公式LINEは管理者からの通知を送るのみの機能としました。

成果

Sフォームの公開に伴い、Amazon Web Service (AWS) で動かしていた旧システムを停止、AWSを解約し、月額約25万円の利用料を削減しました。

課題・展望

来年度のサポーターキャラバン事務局業務が受託できなかったことから、開発したシステムの利用先がなくなっています。地域の事務局を受託するなどして、開発システムの活用を検討します。

5) まちかどピクチャーズ<新規>

(ニッセイ財団の助成を受けて実施しました)

概要

2023（令和 5）年 10 月より、ニッセイ財団高齢社会地域福祉チャレンジ活動助成を受けて認知症カフェ動画プロジェクト「まちかどピクチャーズ」の活動を開始しました。認知症カフェ等の周知を目的に、2025（令和 7）年 9 月までの 2 年間で横浜市内 18 か所の認知症カフェ等取材し、動画作品を公開する予定です。なお認知症の診断を受けた方が取材チームに加わることも特色の一つです。認知症になってもその人らしく活躍し続けることができる時代を象徴するような活動を目指します。

実施内容

- 認知症カフェ取材チームの人選・研修
- 認知症カフェ取材
- 短編動画作品の公開

成果

- まちかどピクチャーズメンバーに協力をいただき取材チーム 6 名の人選を行いました。
- 取材に向けた研修を各チーム 3 回ずつ行いました。
- 3 月末までに各チーム 1 回ずつ取材を行いました。
- 短編動画作品を 2 本公開しました。

課題・展望

- 引き続き 2025（令和 7）年 9 月までに合計 18 か所の認知症カフェ等取材し動画を公開します。
- 2025（令和 7）年 9 月に大規模な上映イベントを予定しています。
- 積極的な広報を通じて協力者を増やし活動の拡大を目指します。

4. 第三者評価部

1) 福祉サービス第三者評価事業

実施内容

事業所が安心感を持って評価に臨んで頂けるよう、最初の説明から評価結果の公表まで、丁寧に対応し進めました。毎年依頼のある法人のほか新規の依頼もあり、保育分野で 15 園を実施しました。

- みどり乳児園（特定非営利活動法人みどり乳児園）
- 桑の実鶴見保育園（社会福祉法人桑の実会）
- おおぞらひまわり保育園（特定非営利活動法人おおぞら）
- おおぞらどんぐり保育園（ 同上 ）
- あっぱる滝頭保育園（社会福祉法人東京愛成会）
- ベネッセ矢向保育園（株式会社ベネッセスタイルケア）
- ベネッセ武蔵小杉保育園（ 同上 ）
- かながわ保育園（社会福祉法人神奈川労働福祉協会）
- ララランド横浜伊勢佐木（株式会社 LaLaLand）
- プレスクールあおば（特定非営利活動法人プレスクールあおば）
- 横浜すきっぷ保育園（株式会社俊英館）
- 尻手すきっぷ保育園（ 同上 ）
- なかまちっこ園（有限会社ドゥーラ）
- こまつな保育園（横浜中央市場保育園株式会社）
- ニチイキッズさくら本郷台保育園（株式会社ニチイ学館）

成果

○保育所に保護者との関係も含め様々な役割が求められる昨今、第三者評価は保育現場のモチベーションにつながる大事なきっかけとなります。事業所を理解した丁寧な質の高い調査・報告を実施したことで、保育に対する自信やさらなる成長に向けてのモチベーションになった等の感謝やコメントを多くいただきました。

○調査が始まる前の 6月に、法人事務所で一堂に会し、勉強会を開催しました。実例をもとにした評価内容や項目評価の視点を共有することで、評価運営委員、調査員の学びの場となりました。さらに終了後には 4 年振りに懇親会を開催し、調査員同士の良い交流の場となりました。

○第三者評価調査員を希望する方には、当法人の調査の仕方やスタンス、考え方を説明しました。共感いただき、次年度の養成研修受講につながりました。

課題・展望

残念ながら高齢・障害分野の施設の依頼はありませんでした。施設をもつ法人に働きかけ、評価の効果や意味を伝えていく必要があります。

将来的な評価事業の拡大も視野に入れ、調査員・評価運営委員の適任者の発掘育成を継続していきます。

5. DX 推進部

1) オンラインサービス活用講座

実施内容

日時	場所	内容（参加者）
7月28日（金） 13:30-15:00	みんなの交流スペース「むつら」	施設利用者向け Zoom 活用講座（約 10 名）
2月20日（火） 14:30-16:00	神奈川区役所	民生委員・児童委員協議会向の地区会長向け スマホアプリ活用講座（約 12 名）

成果

新たに、高齢者福祉施設から、利用者向けの利用者向けの Zoom 活用講座のお話を頂きました。昨年に引き続き、神奈川区福祉保健課から、民生委員・児童委員協議会向の地区会長向けの ICT 活用講座として、スマホアプリを使った「翻訳アプリによる外国人とのコミュニケーション」「LINE ビデオチャットによりリモート参加・サポート」「Microsoft Lens によるペーパーレス化」などについて講習を行いました。

課題・展望

今回のノウハウを元に、様々な施設での開催を模索していきます。

2) 情報セキュリティ・IT 支援業務

実施内容

日時	場所	内容（参加者）
10月17日（火） 11:00-12:30	みどり国際交流 ラウンジ	個人情報保護規定策定支援（約 30 名）

4月～3月 週1日程度	かながわ福祉 サービス振興会	ウェブサイト関連業務支援
----------------	-------------------	--------------

成果

昨年、基礎研修を受講した施設から、個人情報保護規定のポイントの解説と案文の添削というかたちでの個人情報保護講座を行いました。新たに、地域の福祉事業を受託している法人から、管理しているウェブサイト関連の業務支援の依頼を受けて、定期的な訪問による支援業務を行いました。

課題・展望

今回のノウハウを元に、他のNPO法人の個人情報保護研修や保護規定策定支援の業務を進めたいと考えています。ウェブサイト関連業務支援は、来年度は訪問回数を増やして継続する予定です。

6. 法人の取組み（管理部）

1) 市民セクターみらい会議の実施、法人 MVV の策定

実施内容

7月25日（火）、9月26日（火）、11月28日（火）、1月30日（火）に市民セクターみらい会議を実施、法人役員、会員、職員に参加を呼びかけて、市民活動を取り巻く課題と、これからの法人の方向性について意見交換をしました。

市民セクターみらい会議での結果を踏まえて、法人としてのミッション・ビジョン・バリュー（MVV）案を策定し、職員からの意見を踏まえて、以下のMVVを策定しました。

成果

ミッション（使命・目標）

市民が創る社会のために

ビジョン（理想の姿・方向性）

想いがつながり、かたちになる社会を実現します

バリュー（価値観・行動指針）

本人当事者の視点で考える

想いを行動に移す市民を増やす

対話を通してチームをつくる

ゆるやかなネットワークでつながる

課題・展望

策定した MVV を元に、法人事業を推進します。

2) 人事考課制度の制定

概要・目標（削除）

職員の評価や給与・賞与額の基準が曖昧で、管理職による主観的な評価や不公平感があったことから、次年度の目標を法人と職員が予め共有し、年度末に相互評価する人事考課を行い、職員の給与改定につなげる制度を制定します。

実施内容

人事考課の手順を検討、秋に施行しました。

成果

考課に先立ち、職員と法人の共通する目標の設定が必要との意見があり、今年度末は目標の設定のみを行い、人事考課は来年度末からの実施としています。

課題・展望

考課の実施に向けて、引き続き取り組みます。

3) 情報セキュリティポリシーの制定

実施内容

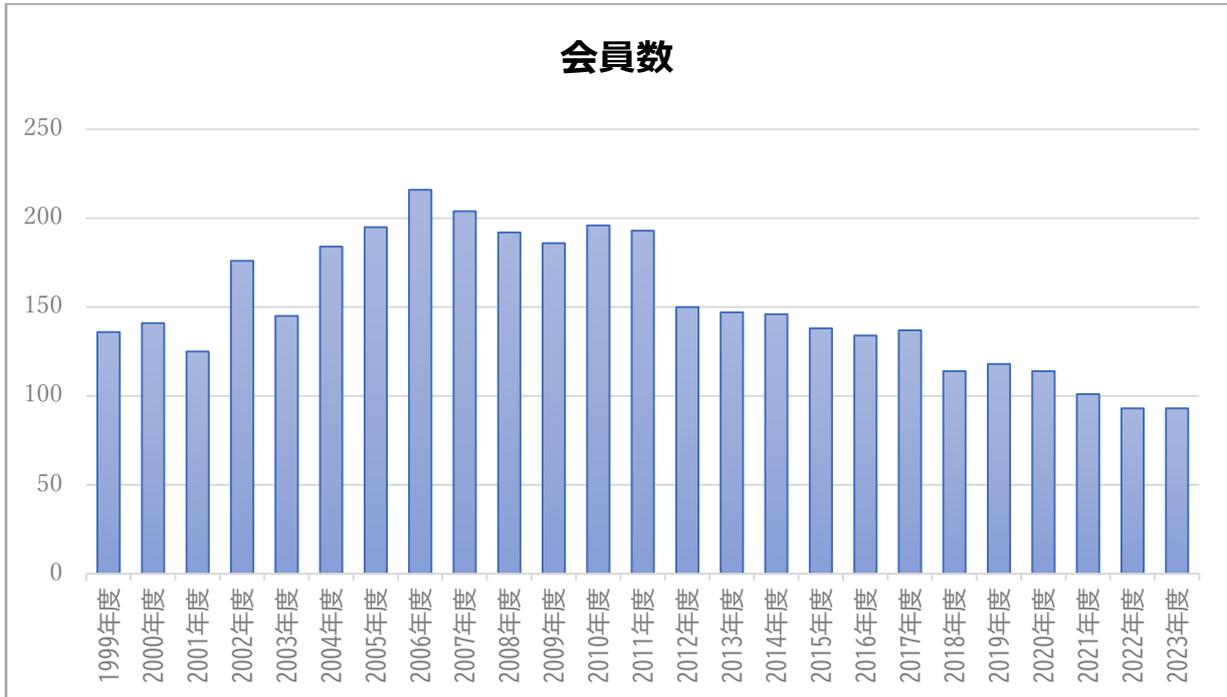
事業の執行を優先したため、策定に着手できませんでした。

課題・展望

来年度以降の策定を進めます。

資料編

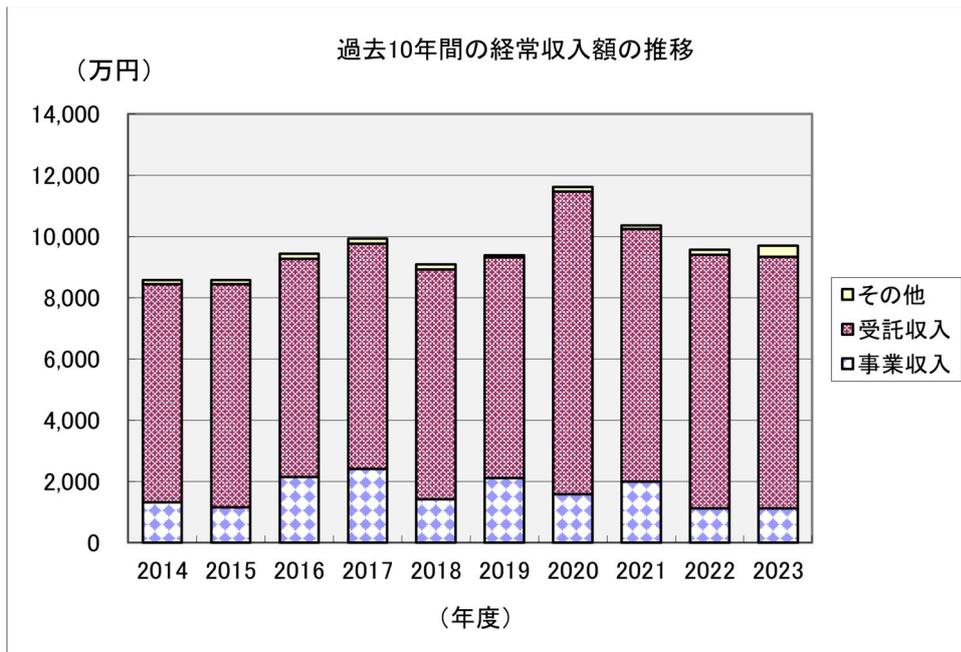
(1) 会員数の推移



※ 各年度末（3月末）時点での正会員・準会員・賛助会員を合計した数値。

※ 数年以上会費納入のない会員について、2025（令和7）年度以降に整理作業を実施予定。

(2) 収入額の推移と内訳



※ 受託収入＝行政からの委託事業（行政との協働事業を含む）

※ その他＝会費収入・助成金収入・寄付金収入など

※ 借入金収入や前期繰越金は含めていない

(3) 市民セクターよこはま 沿革

1998.7	「市民セクター構築のための研究会」発足
1999.9	任意団体「市民セクターよこはま」設立 (9/28)
	横浜ワールドポーターズに店舗兼事務所「こらぼ」開設
1999.12	横浜市への要望書提出「新しい公共の創造へ向けて」
2000.1	配食サービス連絡会発足
2000.9	横浜移動サービス協議会発足 (移動プロジェクトより独立)
2001.7	デイサービス・サロン連絡会、事業型 NPO 連絡会発足
2002.2	横浜ワールドポーターズに「NPO スクエア」開設 同所に事務所移転
2002.7	NPO マネジメント支援プロジェクト発足 (～2005.9)
2002.10	横浜市市民活動共同オフィスの管理運営を受託 (～2009.3)
	協働のありかた研究会参画
2003.4	特定非営利活動法人「市民セクターよこはま」設立・登記 (認証 4/1)
	精神保健連絡会発足
2005.3	設立総会、NPO 法人設立記念パーティ
2004.5	理事長 松本和子 退任、服部一弘 就任
2004.7	横浜会議で研究テーマを提案、採択される
	『暮らしを支える生活術マトリクスモデル』作成と市民力を活かした新システムの研究』
2004.8	認知症ケアマネジメント推進事業開始
	訪問介護員養成研修 1 級課程 開始 (～2005.11)
2004.11	事務局内に評価事業部設置、 福祉サービス第三者評価事業開始
2005.6	地域福祉コーディネーター養成研修開始
2005.8	NPO 等に対する相談・アドバイス事業開始 (～2008.3)
2006.4	認知症サポーターキャラバン横浜市事務局運営開始 (～2024.3)
2006.5	「介護サービス情報の公表」に係わる調査事業開始 (～2009.3)
2006.12	理事長 服部一弘 退任、松本和子 就任
2007.1	横浜市指定管理者第三者評価事業開始
2007.10	コミュニティビジネス支援事業開始
2007.11	横浜市中区住吉町 (関内) に事務所移転
	地縁型組織とテーマ型組織の協働モデル事業開始

2008.5	理事長 松本和子 退任、中野しずよ 就任
2008.7	区役所窓口サービス向上支援事業開始（～2010.3）
2009.5	定額給付金の代理受領および横浜市への寄附手続き開始（～2009.11）
2009.7	横浜市市民活動支援センター運営開始（～2020.3）
2010.6	よこはま地域づくり大学校（市版） 開校
2011.4	東日本大震災の復興支援活動として岩手県大槌町を中心に実施（～2014.3）
2012.7	認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）として国税庁より認定
2013.4	横浜市中区太田町（馬車道）に事務所移転
2014.3	みんなが幸せになるための地域づくりの知恵袋 発行
2014.4	にしく市民活動支援センター運営開始 横浜市市民活動支援センター運営（第2期）
2016.1	神奈川県指定特定非営利活動法人（県指定 NPO 法人）として神奈川県より指定
2017.4	認定特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）として横浜市より認定
2019.4	にしく市民活動支援センター運営（第2期）
2019.5	「市民セクターよこはま」20周年記念フォーラム開催
2020.4	横浜市市民協働推進センター運営開始
2020.6	横浜市中区弁天通（馬車道）に事務所移転
2023.4	横浜市市民協働推進センター運営（第2期）
	事業部制導入、DXの推進
2023.6	理事長 中野しずよ 退任、鈴木智香子 就任

（４）2023（令和5）年度の役員・事務局スタッフ

● 役員（理事・監事）

理事長	中野 しずよ（～2023年5月）、鈴木 智香子（2023年6月～）
副理事長	松本 道雄 鈴木 智香子（～2023年5月）、服部 一弘（2023年6月～）
理事	加世田 恵美子、小島 敏明、伊藤 朋子、加藤 彰彦、伊吾田 善行 服部 一弘（～2023年5月）、中野 しずよ（2023年6月～）
監事	山野上 啓子、梅澤 厚也

● 事務局スタッフ

事務局長	松本 道雄
市民協働推進部	
部長・副部長	伊吾田 善行、韓 昌熹
コアスタッフ	小川 由起子、鈴木 ゆりり、尾崎 恵莉（2024年1月～）
サポートスタッフ	村田 育男、撞井 静雄、原田 姫子、柳本 薫、住吉 重紀、木村 要子 高田 美恵（2023年4月～）、野間 慎太郎（2023年4月～） 吉富 秀一（2023年4月～）、高橋 芳伸（2023年9月～） 大河原 正人（～2023年7月）、橋本 絢（～2024年3月）
アルバイト	杉山 瑠里（2023年9月～2024年3月）
市民活動支援部	
部長	松本 道雄（再掲）
コアスタッフ	山本 雅子、山田 美智子（2023年9月～） 藤崎 さゆり（～2023年6月）
サポートスタッフ	北川 洋、内藤 雅子（2023年4月～） 今村 利恵子（～2023年9月） 宮崎 康子（2023年4月～2023年11月）
まちかどケア事業部	
部長	加世田 恵美子
コアスタッフ	小菅 聡一郎
第三者評価部	
部長	加世田 恵美子（再掲）
サポートスタッフ	石川 亜紀子
DX 推進部	
部長	松本 道雄（再掲）
コアスタッフ	中野 芽衣
管理部	
部長	松本 道雄（再掲）
コアスタッフ	加世田 恵美子（再掲）、中野 芽衣（再掲）
サポートスタッフ	白 露（2023年9月～）、内田 智美（～2023年9月）

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

2023(令和5)年度

決算書

1. 活動計算書
2. 貸借対照表
3. 財務諸表の注記
4. 財産目録

(参考) 予算・決算比較表

法人名： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

活動計算書

2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	166,000		
準会員受取会費	3,000		
賛助会員受取会費	15,000	184,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	93,816	93,816	
3. 受取助成金			
助成金収益	3,417,000	3,417,000	
4. 事業収益			
自主事業収益	11,327,924		
受託事業収益	80,266,027	91,593,951	
5. その他収益			
受取利息	435		
雑収益	0	435	
経常収益計			95,289,202
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	1,160,000		
給料手当	44,013,803		
賞与	7,818,020		
法定福利費	5,730,986		
通勤手当	2,847,531		
福利厚生費	473,629		
人件費計	62,043,969		
(2) その他経費			
講師謝礼金	4,249,534		
業務委託費	7,893,979		
顧問料	1,130,976		
旅費交通費	783,634		
通信・運搬費	3,589,973		
印刷製本費	1,274,030		
消耗品費	1,050,770		
事務所家賃	2,523,503		
水道光熱費	191,677		
支払手数料	656,609		
リース料	799,109		
保険料	11,276		
会場費	198,200		
イベント費	388,648		
広告宣伝費	54,500		
研究・研修費	127,696		
会議費	24,397		
新聞図書費	907,718		
租税公課	5,787,212		
交際費	21,615		
諸会費	67,200		
減価償却費	1,130,588		
長期前払費用償却	64,833		
その他経費計	32,927,677		
事業費計		94,971,646	

2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	1,567,000		
給料手当	161,446		
退職金	156,883		
法定福利費	229,686		
通勤手当	136,957		
人件費計	2,251,972		
(2) その他経費			
顧問料	47,124		
旅費交通費	7,915		
通信・運搬費	36,262		
印刷製本費	12,868		
消耗品費	10,613		
事務所家賃	105,145		
水道光熱費	7,986		
リース料	8,071		
支払手数料	27,358		
イベント費	16,193		
減価償却費	47,107		
長期前払費用償却	2,701		
諸会費	2,800		
貸倒繰入額(販)	43,600		
その他経費計	375,743		
管理費計		2,627,715	
経常費用計			97,599,361
当期経常増減額			△ 2,310,159
III 経常外収益			
貸倒引当金戻入		34,700	
経常外収益計			34,700
IV 経常外費用			
雑損失		1,500,000	
経常外費用計			1,500,000
税引前当期正味財産増減額			△ 3,775,459
法人税・住民税および事業税			79,300
当期正味財産増減額			△ 3,854,759
前期繰越正味財産額			46,155,455
次期繰越正味財産額			42,300,696

貸借対照表

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	40,784,086		
未収金	7,268,552		
貸倒引当金	△ 43,600		
棚卸資産	457,209		
前払費用	425,812		
流動資産合計		48,892,059	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	958,397		
工具器具備品	239,301		
有形固定資産計	1,197,698		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	281,214		
有形固定資産計	281,214		
(2)投資その他の資産			
敷金	902,497		
長期前払費用	135,067		
投資その他の資産計	1,037,564		
固定資産合計		2,516,476	
資産合計			51,408,535
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,654,437		
未払費用	4,342,213		
預り金	172,419		
仮受金	31,770		
未払法人税等	79,300		
未払消費税等	1,827,700		
流動負債合計		9,107,839	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,107,839
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		46,155,455	
当期正味財産増減額		△ 3,854,759	
正味財産合計			42,300,696
負債及び正味財産合計			51,408,535

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて、建物および建物附属設備については定額法、その他の資産は定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物附属設備	1,433,925	0	0	1,433,925	△ 475,528	958,397
工具器具備品	3,071,278	799,961	0	3,871,239	△ 3,631,938	239,301
無形固定資産						
ソフトウェア	1,162,350		0	1,162,350	△ 881,136	281,214
合 計	5,667,553	799,961	0	6,467,514	△ 4,988,602	1,478,912

財産目録

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
にし区市民活動支援センター小口現金	29,554	
その他小口現金	66,230	
横浜銀行普通預金(共通通帳)	265,368	
横浜銀行普通預金(推進センター通帳)	4,796,387	
横浜銀行普通預金(第一通帳)	18,778,151	
横浜銀行普通預金(にし区支援C通帳)	2,578,077	
横浜銀行普通預金(ニッセイ財団事業用通帳)※旧AED通帳	1,225,283	
ゆうちょ銀行(会費等振替口座)	3,042,457	
横浜銀行定期預金	10,002,579	
現金預金計	40,784,086	
未収入金		
横浜市 認知症サポーターキャラバン事業事務局委託費	3,465,000	
横浜市都市整備局 まち普請事業運営費用	2,233,000	
横浜市 空家の地域活用に関する業務委託費	993,977	
横浜市民まち普請バスツアー業務受託	253,000	
横浜市 NPO組織基盤強化ワークショップ協働事業費用	163,350	
かながわ福祉サービス振興会 3月作業費用	148,500	
リソ印刷機利用者収入3月分	6,725	
R5年度第2回横浜ふれあい助成金運営委員会	5,000	
未収入金計	7,268,552	
貸倒引当金	-43,600	
商品		
書籍在庫	43,100	
貯蔵品		
災害時用備蓄品	123,837	
サイトアプリ事業マンガ版リーフレット	290,272	
貯蔵品計	414,109	
前払費用		
西区街の名人達人冊子	193,050	
コーケンキャピタルビル 4月分家賃	219,054	
法人事務所 火災保険	12,708	
西区施設賠償保険料	1,000	
前払費用計	425,812	
流動資産合計		48,892,059
2. 固定資産		
建物附属設備		
法人事務所内装工事	958,397	
工具器具備品		
法人事務所テーブル及び椅子	239,301	
ソフトウェア		
助成金受付・管理システム構築費	281,214	
敷金		
リストインターナショナルリアルティ 敷金	902,497	
長期前払費用		
コーケンキャピタル 法人事務所契約更新料	135,067	
固定資産合計		2,516,476
資産合計		51,408,535

科 目	金 額		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
社会保険納付 3/8(2月分)支給給与分	770,972		
韓国訪問経費、研修費	390,207		
講師謝金9件(推進センター、西区、第三者評価)	340,038		
対話のデザイン研究所 運営業務委託費3月分	300,000		
西区グループ・団体がイトブック製作費	153,450		
NTT東日本、ミラテク、ソフトバンク通信運搬費	139,291		
源泉所得税未納分	92,773		
日本郵便郵送料3月分	75,599		
八雲堂、大塚商会富士フィルム印刷製本費5件	71,703		
サーバー保守ネクストウェル	67,411		
VISAカード利用料3月分	56,827		
ピクチャーズ謝金、交通費	47,792		
税理士顧問料	44,000		
振込手数料20件	23,830		
なないろのはな、SMTパナリス大塚商会	22,620		
ユニマツリース料	10,692		
その他8件計	47,232		
未払金計	2,654,437		
未払費用			
3月分給与	4,342,213		
預り金			
3月分給与 源泉所得税	80,619		
住民税	91,800		
預り金計	172,419		
仮受金			
委員謝金未精算分	31,770		
未払法人税等	79,300		
未払消費税等	1,827,700		
流動負債合計		9,107,839	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			9,107,839
正味財産			42,300,696

2023予算・決算 比較表

(単位:円)

科 目	2023予算	2023決算	差異(決算-予算)
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	249,000	166,000	△ 83,000
準会員受取会費	6,000	3,000	△ 3,000
賛助会員受取会費	30,000	15,000	△ 15,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	127,000	93,816	△ 33,184
3. 受取助成金			
助成金収益	1,000,000	3,417,000	2,417,000 ※ 1
4. 事業収益			
自主事業収益	6,456,000	11,327,924	4,871,924
受託事業収益	80,666,000	80,266,027	△ 399,973
5. その他収益			
受取利息	600	435	△ 165
雑収益	3,400	0	△ 3,400
経常収益計	88,538,000	95,289,202	6,751,202
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
役員報酬	2,985,000	2,727,000	△ 258,000
給料手当	47,686,000	44,175,249	△ 3,510,751 ※ 2
賞与	8,496,000	7,818,020	△ 677,980 ※ 2
退職金		156,883	156,883
法定福利費	5,946,000	5,960,672	14,672
通勤手当	3,112,000	2,984,488	△ 127,512
福利厚生費	418,000	473,629	55,629
人件費計	68,643,000	64,295,941	△ 4,347,059
(2) その他経費			
講師謝礼金	3,656,000	4,249,534	593,534
業務委託費	9,080,000	7,893,979	△ 1,186,021 ※ 3
顧問料	1,612,000	1,178,100	△ 433,900
旅費交通費	1,072,000	791,549	△ 280,451
通信・運搬費	4,473,000	3,626,235	△ 846,765 ※ 4
印刷製本費	796,000	1,286,898	490,898
消耗品費	1,120,000	1,061,383	△ 58,617
事務所家賃	2,629,000	2,628,648	△ 352
水道光熱費	189,000	199,663	10,663
支払手数料	726,000	683,967	△ 42,033
リース料	799,000	807,180	8,180
保険料	24,000	11,276	△ 12,724
会場費	330,000	198,200	△ 131,800
イベント費	982,000	404,841	△ 577,159 ※ 5
広告宣伝費	1,413,000	54,500	△ 1,358,500 ※ 6
研究・研修費	31,000	127,696	96,696
会議費	27,000	24,397	△ 2,603
新聞図書費	681,000	907,718	226,718
租税公課	4,885,000	5,787,212	902,212
交際費	21,000	21,615	615
諸会費	92,000	70,000	△ 22,000
減価償却費	524,000	1,177,695	653,695
長期前払費用償却	68,000	67,534	△ 466
貸倒繰入額(販)	34,700	43,600	8,900
貸借料	60,000		△ 60,000
修繕費	184,000		△ 184,000
雑費	632,000		△ 632,000 ※ 7
その他経費計	36,140,700	33,303,420	△ 2,837,280
経常費用計	104,783,700	97,599,361	△ 7,184,339

Ⅲ 経常外収益			
貸倒引当金戻入	61,900	34,700	△ 27,200
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			0
雑損失		1,500,000	1,500,000
経常外費用計	0	1,500,000	1,500,000
税引前当期正味財産増減額	△ 16,183,800	△ 3,775,459	12,408,341
法人税・住民税および事業税	74,500	79,300	4,800
当期正味財産増減額	△ 16,358,300	△ 3,854,759	12,503,541
前期繰越正味財産額	46,155,455	46,155,455	0
次期繰越正味財産額	29,797,155	42,300,696	12,503,541

※ 8

予実の差額が50万円以上の項目について

- ※ 1 まちかどピクチャーズ（ニッセイ財団 | +2,000千円）、
日韓市民活動交流事業（日韓文化交流基金 | +417千円）の助成を受けて新規事業を実施
- ※ 2 新規採用が遅延したことによる差額（▲4,188千円）
- ※ 3 まちかどケアシステム、開発費の実数精算による差額（▲625千円）
- ※ 4 まちかどケアシステム、サーバーの仕様見直しにより経費を削減（▲1,097千円）
- ※ 5 市民協働推進部でのイベント経費を削減（▲710千円）
- ※ 6 横浜市市民協働推進センターウェブサイト、保守費用を削減（▲1,270千円）
- ※ 7 今期は費目（雑費）を利用せず（▲632千円）
- ※ 8 ユニオンとの団体交渉の協定書に基づき、解決金を支払い（+1,500千円）